

新型コロナ

中傷、デマなぜ言うの？ どう防ぐの？ 越前町糸生小児童

越前町糸生小の児童が、紙面で紹介した新聞ワークショップ「新型コロナウイルスで広まるデマ、中傷」の記事を読み、人はなぜデマを言うかや、防ぐためにどうしたらいいかを考えました。6年生はワーク終了後の感想も紹介します。

3年

さわぎになるのがうれしい

いいことと悪いこと、考えて話す

野村奏太さん 本当か分からないのに、言ってしまうから。いいことと、悪いことを考えて話す。

樋村笑衣琉さん うそでさわぎになるのがうれしいから。うそは信じない。まわりにさわがせない。

4年

うつりたくない気持ちが強い

相手の気持ちになって考える

富山映さん コロナはこわくて、うつりたくないという気持ちが強いから。コロナを正しく理解する。

渡邊芽さん うわさ話はおもしろい。自分には関係がないことだから。相手の気持ちになって考える。

6年

拡散されるのを楽しんでいる

さ別をなくすことが大事

安井颯大さん 原因はストレスだと思う。さ別をなくすこと。感想 じっくり考えて思った通り伝えられたので良かった。みんなで助け合わなければいけないと改めて思いました。

渡邊虹さん 拡散されるのを楽しんでいるから。相手を苦しめたり、傷つけたりしない。感想 現状を深く知ることができて良かった。中傷のない社会にするために、できることをしたい。